

編集後記

編集後記

SBI 大学院大学 研究科委員会
研究推進委員会 野間 修 石川 秀樹

この度、「紀要」の第3号（2015年度版）ができあがりました。ご執筆いただいた先生、修了生、編集作業や印刷・製本をご担当いただいた多くの方々に深い感謝の念を申し上げます。

今号では、前号（第2号）での執筆者に加えて、北海道北見市から西野寛明氏（2012年3月修了）、宮城県仙台市から柿崎純氏（2013年3月修了）、松山市から大藪崇氏（2010年9月修了）、東京から佐々木英明氏（2012年9月修了）と松尾友治氏（2014年3月修了）からご寄稿いただきました。全国各地で活躍する本学の修了生の思いと行動が伝わってきます。彼らに共通することは、社会をよくするためには何を行うべきかという視点から事業に取り組んでいるということです。道徳的価値を備えた次世代のリーダーを育成するという本学の目的を修了生のみなさんが体現してくれており、嬉しい限りです。本学修了生の奮闘が地方を元気にし、日本を元気にしてくれるものと思います。

このように、今回の紀要は論文の発表の機会というだけではなく、修了生の近況報告を通じて修了生同士のつながりを深めるとともに、修了生が実践を通じて本学で学んだことをいかに深めているのかを知るよい機会にもなったのではないかと考えております。

次号では、専任教員の先生方の他に、青森県弘前市から地元アイドルの発掘・育成や映画制作など地域文化振興に取り組む樋川新一氏（2010年9月修了）、石川県金沢市から地産地消の飲食店のビジネスモデル構築に取り組む平田賢太郎氏（2014年3月修了）、宮崎県から飴肥杉を世界にPRする「飴肥杉世界展開プロジェクト」や起業家支援を行う「MIYAZAKI STARTUP VALLEY（宮崎スタートアップバレー）」に取り組んでいる齋藤潤一氏（2014年3月修了）にご寄稿いただく予定です。また、海外で活躍中の修了生・在校生も多いことから、海外からのご寄稿もお願いしようかと思索しております。みなさまからも、次号の企画について、ご意見、ご提案をいただけると幸いです。

2015年10月